

【2024年度 FD・SD委員会 事業計画】

委員長校	甲南大学
副委員長校	神戸市看護大学
委員校 (全:24校)	芦屋大学、関西国際大学、関西学院大学、関西学院短期大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学 神戸国際大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸薬科大学 頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、宝塚医療大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部 兵庫教育大学、兵庫県立大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
取組1	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開
達成目標	各年セミナー5件以上
活動指標	参加者数100人以上/年
取組2	<FD・SD情報交換会、セミナー等の開催>大学教育等に関する講演会等の開催
達成目標	各年参加者数50名以上
活動指標	開催数:3回以上/年

目的

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供」の推進に向けて、以下の取組課題について、事業推進を行う。

【取組課題⑥】大学教職員の研修機会の提供と交流の促進

教職員の資質を向上させることを目的とした研修の機会を継続的に提供する。県下の大学等高等教育機関の関係者に研修交流機会を提供することにより、相互の立場で具体的な施策に結びつく議論が行われる、闊達な意見交換の場を創出する。
以上の体制の構築並びに、必要な取り組みは本委員会にて実施する。

課題⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進			
予算額	取組1	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	0円
	取組2	FD・SD情報交換会、セミナー等の開催	500,000円

期待される効果

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校教職員の資質向上に寄与し、加盟校の担当者間の情報交換・交流や加盟校間での人材交流を促進する場が提供できる。

【2024年度 FD・SD委員会 事業計画(⑥取組1)】

課題⑥	大学教職員の研修機会の提供と交流の促進		
達成目標	大学間で研修プログラムを共有することで、多様な教職員の学びと交流の場を提供する。		
課題を解決する取組概要	加盟校間でのFD・SDセミナーの公開		
活動指標	参加者数100人以上/年		
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)	
<p>1. 情報収集 Webフォームにて加盟校のFD・SDセミナー(学外公開可のもの)の情報収集を行う。</p> <p>2. 情報提供 加盟校のFD・SDセミナーの情報について、大学コンソーシアムひょうご神戸よりメール周知ならびにホームページ上での公開等により情報共有を行う。</p> <p>3. 定期的な協力依頼 半年に1回程度、加盟校へのFD・SDセミナーの情報提供依頼を実施するなど、適宜、本取り組みへの理解と協力を求める。</p> <p>【参考】2023年度の情報提供テーマ例 「Chat GPT 等生成 AI の業務での利用について」 「大学の授業と著作権について」 「大学入学者選抜の過去・現在・未来」</p>			
達成目標に対する実績			
活動指標に対する実績			
自己評価基準:対到達目標 ※		—	
自己評価基準:対継続性 ※		—	

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
0円				
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※
自己評価基準:対到達目標

4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った

※
自己評価基準:対継続性

4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき

【2024年度 FD・SD委員会 事業計画(⑥取組2-1)】

課題⑥	大学教職員の研修機会の提供と交流の促進		
達成目標	大学教育が直面している喫緊の課題に関する情報を共有することにより、高等教育改革推進に関する教職員の意欲を高める。		
課題を解決する取組概要	加盟校教職員を対象とした大学教育等に関する講演会等の開催		
活動指標	開催数1回以上/年		
	計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
	<p>1. 大学教育等に関する講演会等の開催</p> <p>・テーマ 加盟校の意向を調査したうえで決定</p> <p>昨年度実施したアンケートにおいては、DXや(生成系)AIのテーマに関するニーズが多かったため、DX、AI関連を中心にテーマを検討する。 また、FD・SDの共通化の一端として、講演会等のオンデマンド化を講師が許可する範囲内にて行い、後日、加盟校教職員が”いつでも・どこでも・だれでも”参加可能な仕組みを検討する。</p> <p>2. FD・SDの共通化への取り組み</p> <p>昨年度は事前調査として、「共同研修」を行うことで効果が期待できそうなテーマやアイデアのヒアリングを行い、内部質保証、IRに関する回答が多く、若手職員の合同勉強会による人的ネットワークの構築を求める回答もあった。 今年度は詳細テーマ、実施方法・時期などを適宜加盟校の意向を調査しつつ、最初の取り組み方針を固める。</p>		
	達成目標に対する実績		
	活動指標に対する実績		
	自己評価基準:対到達目標 ※		—
	自己評価基準:対継続性 ※		—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
500,000円				
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※
自己評価基準:対到達目標

4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った

※
自己評価基準:対継続性

4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき

【2024年度 FD・SD委員会 事業計画(⑥取組2-2)】

課題⑥	大学教職員の研修機会の提供と交流の促進		
達成目標	事業終了時、受講者アンケート調査において、「自学の内部質保証活動にとって有益であった」との回答が平均70%以上であることを目指す。		
課題を解決する取組概要	加盟校教職員を対象とした内部質保証システム等に関するFD・SDセミナー等の開催		
活動指標	FD・SDセミナー等開催数2回以上/年		
	計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
	<p>1. 内部質保証システム等に関するFD・SDセミナー等の開催</p> <p>・テーマ① 内部質保証の実質化関連</p> <p>現在、多くの大学は、既に3巡目の認証評価を終え、引き続き内部質保証に取り組んでいると思われるが、その実質化は必ずしも十分とは言いきれないことも多く、内部質保証を機能させ、継続的に改善を図る必要がある。また、内部質保証のあり方に関して、大学関係者の話を聞く機会が多いが、評価機関の話を聞く機会は、自大学の受審時以外には、ほとんどない。</p> <p>よって複数の評価機関から、「3巡目の評価結果を基に、評価機関の考える内部質保証の実質化のあり方と課題、優良事例」、「4巡目における内部質保証のあり方の方向性」等を講演やパネルディスカッションを通して学ぶ機会を提供する。</p> <p>※実施予定時期:2025年1月～3月</p> <p>・テーマ② データの可視化などIRスキル関連</p> <p>IRにおいて、データ集約の後のデータ分析方法やIR業務全体における効率化など、加盟校ごとに状況は様々でありながらも、課題に感じられている部分が多々あることが想定される。</p> <p>そこで、特にIR業務担当教職員向けに、IR業務において業務効率化に資するような実務研修を実施し、加盟校教職員の学びの機会とするとともに、加盟校教職員間での情報交換の促進を図ることとする。</p> <p>※実施予定時期:2024年6月～9月</p> <p>※上記2テーマともに、FD・SDの共通化の一端として、講演会等のオンデマンド化を講師が許可する範囲内にて行い、後日、加盟校教職員が”いつでも・どこでも・だれでも”参加可能な仕組みを検討する。</p>		
	達成目標に対する実績		
	活動指標に対する実績		
	自己評価基準:対到達目標 ※		—
	自己評価基準:対継続性 ※		—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
500,000円				
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※
自己評価基準:対到達目標

4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った

※
自己評価基準:対継続性

4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき

【2024年度 FD・SD委員会 事業予算】

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算				委員会 予算		
		取組1		取組2				
		加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開		FD・SD情報交換会、セミナー等の開催		内訳	予算額	
		内訳	予算額	内訳	予算額			
収入	会費収入	600,000			500,000		100,000	
	助成事業収入	0						
	受託事業収入	0						
	プログラム収入	0						
	雑収入	0						
	戻入金	0						
	計	600,000	0		500,000		100,000	
支出	会議費	110,000			懇親会	100,000	会議費	10,000
	旅費交通費	90,000			講師等交通費	80,000	旅費交通費	10,000
	通信運搬費	10,000					通信運搬費	10,000
	消耗品費	30,000			消耗品費	20,000	消耗品費	10,000
	新聞図書費	0						
	印刷製本費	0						
	光熱水料費	0						
	賃借料	105,000			会場費等	80,000	賃借料	25,000
	保険料	0						
	謝金	220,000			講師等謝金	220,000		
	租税公課	0						
	支払手数料	5,000					振込手数料	5,000
	諸会費	0						
	委託費	30,000					各プログラムHPに係る予備費	30,000
	人件費	0						
	接待交際費	0						
	支払支援金	0						
雑費	0							
計	600,000	0		500,000			100,000	

収入－支出	0
-------	---